

社会福祉法人カリヨン子どもセンター 2010年度 運営報告

(1) ご支援に感謝して

2010年度もカリヨン子どもセンターへのご支援、ご協力を賜りありがとうございます。運営報告をさせていただきます。

上半期決算にて、財政困難に青ざめました。皆様から重ねて多くのご支援を頂戴し、カリヨンの2つのシェルターと2つの自立援助ホーム、デイケア事業「カリヨンハウス」とさまざまな「子ども支援金事業」は、すべて無事に2011年度の活動へ歩みだすことができました。

2010年度にはのべ782件の個人、企業、団体の皆さまから79,195,981円(物品・金券等の寄付を含みます)のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございます。

カリヨン子どもセンターではこれからも、居場所を失い、ひとりぼっちで悩み、苦しむ子どもたちがひとりでも多く安心して、安全な環境で生活することができるよう活動内容を充実させてまいります。どうぞ今後とも、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

(2) 日本弁護士連合会『子どものためのシェルター』の公的法制度化を求める意見書

2011年2月、子どもシェルターの実績と必要性に基づき、国に対し、法的根拠の制定と公的な財政基盤の確立を求め、厚生労働省、内閣府、最高裁判所、法務省などに届けられました。(意見書全文は日弁連のホームページにて公開しています)

(3) 連携・協働ネットワーク

①少年相談ネットワーク会議

2009年度に引き続き、当法人主催にて、計4回開催しました。東京都少子社会対策部、治安対策本部、児童相談センター、保護観察所、家庭裁判所、少年院、更生保護施設、自立援助ホームの各関係者を招集し、少年非行の背景に虐待や不適切

養育があるために、家庭に戻ることができず、試験観察、保護観察、少年院の仮退院に際し、住居と生活支援者を見つけることが難しい子どもの社会的養護がどうあるべきか、検討を重ねています。

各機関、職種の役割を把握した上で、少年院教官への養育家庭広報、少年院仮退院時の自立援助ホーム入居相談窓口の整理、子どもの施設入居中の医療費や施設への委託費など今後の課題となるべき事項の共有を行いました。今後、会議のまとめを作成する予定です。

②子どもシェルター全国ネットワーク会議

2011年3月、各地で子どもシェルターを設置運営する法人の連携協力のためにネットワークを立ち上げました。発足時の参加は、カリヨン子どもセンター(東京)、子どもセンターてんぼ(神奈川)、子どもセンターパオ(愛知)、子どもシェルターモモ(岡山)、子どもセンターピピオ(広島)、ロージーベル(宮城)、ののさん(京都・準備中)、福岡(準備中)の8団体です。

子どもシェルター開設、運営のための情報交換、相互支援、子どもシェルター活動を充実させ、広く市民に知ってもらうための研修やシンポジウム等の開催、子どもシェルターの公的法制度化をおよび補助金交付めざす国、地方公共団体への陳情、折衝等を目的としています。

ネットワークの発足に先駆け、2010年度中に、各シェルターの関係者が集っての陳情ならびにシンポジウム等を開催いたしました。

7月	厚生労働省への陳情「子どものシェルターの公的法制度化を求める陳情」
10月	独立行政法人福祉医療機構「虐待から子どもの命を守り、子どもたちに明るい未来を！」
12月	日本子ども虐待防止学会第16回くまもと大会分科会「子どもシェルターの現状と自立」

(3) 広報活動

① 広報資料

ニュースレター No. 19 (6月)、No.20 (12月) を各 1500 部発行しました。また、法人のリーフレットを 21500 部発行しました。

② 外部イベントへの参加

子どもの人権啓発のためのお芝居、東京弁護士会「もがれた翼」の製作協力をしました。各テーマはさまざまですが、すべての作品にカリヨン子どもセンターが登場し、居場所や支援をなくして苦しむ子どもたちの権利擁護が描かれています。

8月	もがれた翼 Part.17「雨の記憶」(性的虐待と司法面接)
11月	日弁連人権擁護大会特別公演「しあわせになりたい」(子どもの貧困)
1月	日弁連シンポジウム特別公演「扉をひらいて」(全面的国選付添人制度の実現)

また、12月には東京都主催「子供未来とうきょうメッセ 2010」へ参加しました。

(4) 子ども支援金事業の充実

支援者、支援企業・団体から特定寄付をいただき、子どもの就学、資格取得、自立のための子ども支援金事業が充実させることができます。

PMJ ホープチェック スト支援金	フィリップモリスジャパン(株)の支援により全国の自立援助ホームの子どもたちの就学、資格取得、自立生活を支援。
日本財団 スタート応援金	とびらの家、夕やけ荘の子どもたちの就労応援。
メリルリンチ 奨学金	大学、専門学校へ進学する子ども2名を支援中。
内海奨学金	高卒認定試験、定時制高校進学、高校編入試験、職業訓練校入学試験等のための学習費用や生活費の支援。

(5) 施設運営報告

① 子どもの利用状況 (2009年度からの滞在児を含む)

	入居・利用	退居
子どもの家ガールズ	19	17
子どもの家ボーイズ	8	8
とびらの家	6	2
夕やけ荘	11	9
カリヨンハウス	189	

② 入居時年齢 (人)

	14歳未満	15歳	16歳	17歳	18歳	19歳	20歳以上
ガ	1	2	4	4	6	2	0
ボ	0	0	3	3	1	1	0
と	0	0	1	3	2	0	0
夕	0	2	3	4	2	0	0

③ 入居・退居の背景、状況

	入居	退居
ガールズ	親等からの虐待 精神的な病気 非行 試験観察・保護観察 通学 (不登校含む)	自宅・親族宅 自立援助ホーム入居 里親・養育家庭 保護観察所へ出頭 一時保護所入所 ステップハウス入所
ボーイズ	親等からの虐待 施設不調、家出 海外から強制帰国 少年院仮退院者 ガールズの応援	自立援助ホーム入居 家庭復帰 無断外泊→少年院
とびら	親等からの虐待 シェルター等から	アパート自立 家庭復帰
夕やけ荘	親等からの虐待 知的ボーダー 非行 試験観察・保護観察 通学 (通信制高校含む) 施設不調	アパート自立 家庭復帰 知人宅 里親・養育家庭 親護施設送致 無断外泊→措置解除

④職員・会議

	職員	ボ ラ	会議・研修
ガールズ	3	13	<p>【会議】スタッフミーティング、スタッフ懇談会、(毎月定例開催)、入居時ケース会議、関係機関との打合せ 等</p> <p>【研修】初級職員研修ー〇(雇入れ時の教育、仕事の進め方・子どもケアの基礎)、初級職員研修ー〇(職員の心構え、緊急避難、応急法、パソコン、ケース検討など)、職員研修(社外研修、法人研修など)</p>
ボーイズ	2	7	<p>【会議】スタッフミーティング、スタッフ懇談会(毎月定例開催)、入居時ケース会議、臨時会議、関係機関との打合せ 等</p> <p>【研修】法人研修 等</p>
とびらの家	3	3	<p>【会議】スタッフミーティング(毎月定例開催)、関係機関との打合せ 等</p> <p>【研修】法人研修、全国ホーム長会議、沖縄研修、養問研研修、自立援助ホームスタッフ研修、自立援助ホーム全国大会</p>
タヤけ荘	3	5	<p>【会議】スタッフミーティング(毎月定例開催)、関係機関との打合せ 等</p> <p>【研修】法人研修、都内自立援助ホームスタッフ研修、生い立ちの整理・被虐待児の対応、性教育研修、少年院出院児の当事者会発足シンポジウム 等</p>
カリヨンハウス・事務局	2	1	<p>【会議】事務局会議、カリヨンハウス会議、カリヨンハウス講師交流会の開催</p> <p>【研修】法人研修の主催</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 子どもの権利保障と法人の理念 ② 社会的養護概念と児童福祉機関 ③ カリヨンケース研究 ④ 少年法・少年審判手続開設 ⑤ ジェノグラム・エコマップ ⑥ 少年更生保護の手続きの解説 ⑦ インシデント・ロールプレイ ⑧ 法人組織・各規程 ⑨ カリヨンケース報告

⑤健康管理・施設環境

	健康管理	施設・環境
ガールズ	<p>梅雨時食中毒対策。</p> <p>通院理由：頭痛、腹痛、肩凝り、筋肉痛などメンタル系の訴えが顕著のべ117回。</p>	<p>緊急避難場所の確認</p> <p>スタッフルームの防音工事</p> <p>地デジ対応工事</p>
ボーイズ	<p>皮膚病罹患児の衣類・寝具の熱消毒。</p> <p>新型インフルエンザ対策、食中毎対策ほか。</p> <p>通院理由：筋肉痛、巻き爪、虫歯のみ。</p>	<p>敷地内へのゴミの投棄防止。</p> <p>花壇・家庭菜園の整備。</p> <p>近隣住民とのゆるやかな交流に配慮。</p>
とびら	<p>ノロウイルスなど、集団感染の恐れがある病気には注意</p>	<p>居室の窓を二重サッシにする防音・保温効果。</p> <p>児童居室を個室化(東京都安心子ども基金・日本財団による補修費用援助)</p>
タヤけ荘	<p>子どもから訴えのあった症状への対応と予知</p> <p>インフルエンザ対策</p> <p>食中毒対策、感染症(ノロウイルス)対策</p>	<p>緊急避難場所の確認</p> <p>畳の表替え</p> <p>ホーム内に季節感の取り入れ(四季の花を飾る・雛人形の設置・菖蒲湯実施・行事食等)</p>

⑥2011 年度への課題

ガールズ	<ul style="list-style-type: none"> ・多機関連携の推進 ・退所児童の調査・分析によるケア・処遇のあり方の検討 ・精神科受診を必要とする子どもの増加に伴う連携、ケアのあり方の研究 ・各種実務研修、OJTの推進 ・仕事のマニュアルの見直し ・子どもの個人情報管理の徹底 ・事務処理の効率化 ・職員間でのケース検討 ・余暇活動の充実（カリヨンハウス、運動の出来る公的施設の利用などを検討）
ボーイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員育成とホーム長の負担軽減。 ・アフターケア ・入居者2名を受け入れ可能な体制をつくる。 ・日勤スタッフの常設。 ・スポーツの希望が非常に多いため、これまでのような高齢のボランティアスタッフでは対応できない。体力的にも信頼できる人材が欲しい。
とびらの家	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースカンファレンス等を通じタやけ荘、シェルターとの連携強化 ・就労安定のため職場との関係強化 ・アフターケア ・進学希望者への支援
タやけ荘	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの定着と連携 ・スタッフスキルアップの為の各種研修の推進 ・アフターケアの更なる充実（新たなスタッフにも対応出来る様に複数でのケア） ・在居児中心に教育機関、就労機関の情報提供と、支援のスキルアップ
カリヨンハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・運営資金の獲得 ・メニューの充実 ・スケジュール管理体制の整備 ・子どもの利用促進 ・子どものニーズ把握、講師への伝達 ・実施後のフォロー、報告体制の整備

★自立援助ホームのアフターケアとは…★

- ・ 公的機関との会議、情報連絡会の開催
- ・ 成人のお祝会、クリスマス会の開催
- ・ 手紙、誕生日カードの送付
- ・ 電話、面会（訪問、来訪等）での相談
- ・ 現在の入居児童、OG、OBによる交流 等

★カリヨンハウスで実施中のメニュー紹介★

カウンセリング、ボイストレーニング、アサーティブ、鍼灸、語学、ピアノ、料理、ダンス、学習、ゆんたく（おしゃべり）、語学、絵画、カラオケ、足裏マッサージ、ハンドベル 等

2010年度決算報告

社会福祉法人カリヨン子どもセンター

貸借対照表

2011年3月31日現在

科目名	金額	科目名	金額
【資産の部】		【負債の部】	
流動資産	111,317,054	流動負債	18,833,620
固定資産	130,043,350	固定負債	1,110,900
基本財産	74,998,325	負債の部合計	19,944,520
その他の固定資産	55,045,025	【純資産の部】	
		基本金	75,616,610
		国庫補助金等特別積立金	190,208
		その他の積立金	40,000,000
		次期繰越活動収支差額	105,609,066
		(うち当期活動収支差額)	38,400,438
		純資産の部合計	221,415,884
資産の部合計	241,360,404	負債及び純資産の部合計	241,360,404

資金収支計算書

(自)2010年4月1日 (至)2011年3月31日

経常活動による収支	収入	利用料収入	1,957,000	
		措置費収入	0	
		委託費等収入	46,118,955	
		寄附金収入	79,195,981	
		雑収入	415,692	
		借入金利息補助金収入	0	
		受取利息配当金収入	235,022	
		経理区分間繰入金収入	11,785,998	
		経常収入計	139,708,648	
		支出	人件費支出	41,594,164
		事務費支出	22,343,929	
		事業費支出	18,931,981	
		借入金利息支出	0	
		経理区分間繰入金支出	11,785,998	
		経常支出計	94,656,072	
		経常活動資金収支差額	45,052,576	
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	5,000,000	
		施設整備等寄附金収入	560,000	
		固定資産売却収入	0	
		施設整備等収入計	5,560,000	
	支出	固定資産取得支出	0	
		元入金支出	0	
		施設整備等支出計	0	
		施設整備等資金収支差額	5,560,000	
財務活動による収支	収入	借入金収入	0	
		投資有価証券売却収入	0	
		借入金元金償還補助金収入	0	
		積立預金取崩収入	0	
		前期末支払資金取崩収入	0	
		その他の収入	0	
		財務収入計	0	
		支出	借入金元金償還支出	0
			投資有価証券取得支出	0
			積立預金積立支出	40,000,000
		その他の支出	10,511,520	
		流動資産評価減等による資金	0	
		財務支出計	50,511,520	
		財務活動資金収支差額	-50,511,520	
		当期資金収支差額合計	101,056	
		前期末支払資金残高	92,382,378	
		前期末支払資金取崩額	0	
		当期末支払資金残高	92,483,434	

事業活動収支計算書

(自)2010年4月1日 (至)2011年3月31日

事業活動収支の部	収入	利用料収入	1,957,000	
		措置費収入	0	
		委託費収入	46,118,955	
		寄附金収入	79,195,981	
		雑収入	415,692	
		借入金元金償還補助金収入	0	
		引当金戻入収入	0	
		国庫補助金等特別積立金取崩	27,500	
		事業活動収入計	127,715,128	
		支出	人件費支出	41,594,164
		事務費支出	22,343,929	
		事業費支出	18,931,981	
		減価償却費	1,728,118	
		引当金繰入	511,520	
		事業活動支出計	85,109,712	
		事業活動収支差額	42,605,416	
事業活動外収支の部	収入	借入金利息補助金収入	0	
		受取利息配当金収入	235,022	
		経理区分間繰入金収入	11,785,998	
		投資有価証券売却益	0	
		有価証券売却益	0	
		雑収入	0	
		事業活動外収入計	12,021,020	
		支出	借入金利息支出	0
		経理区分間繰入金支出	11,785,998	
		投資有価証券売却損	0	
	有価証券売却損	0		
	資産評価損	0		
	雑損失	0		
	事業活動外支出計	11,785,998		
		事業活動外収支差額	235,022	
		経常収支差額	42,840,438	
特別収支の部	収入	施設整備等補助金収入	5,000,000	
		施設整備等寄附金収入	560,000	
		固定資産売却益	0	
		国庫補助金等特別積立金取崩	0	
		その他の特別収入	0	
		特別収入計	5,560,000	
		支出	基本金組入額	10,000,000
		国庫補助金等特別積立金積立	0	
		固定資産売却処分損	0	
		特別支出計	10,000,000	
		特別収支差額	-4,440,000	
		当期活動収支差額	38,400,438	
繰越活動収支差額の部		前期繰越活動収支差額	107,208,628	
		当期末繰越活動収支差額	145,609,066	
		基本金取崩額(14)	0	
		基本金組入額(15)	0	
		その他の積立金取崩額(16)	0	
		その他の積立金積立額(17)	40,000,000	
		次期繰越活動収支差額	105,609,066	